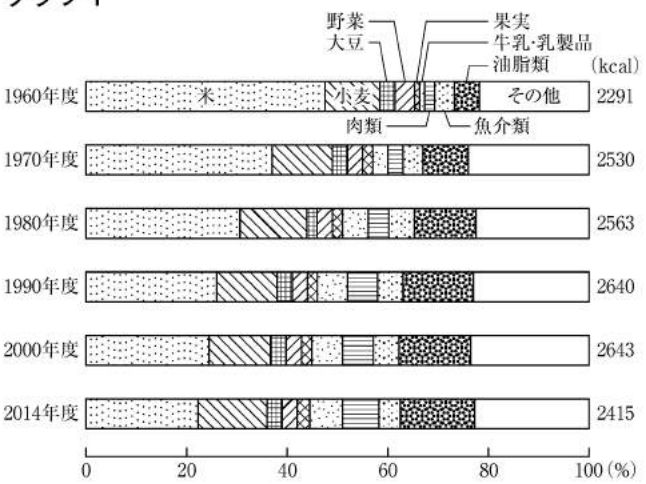
練習問題

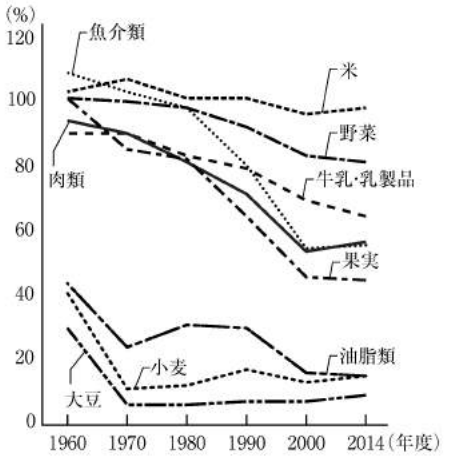
★★**1**　日本の食料自給率は，高度経済成長期当初の1960年度に79％だったものが，現在(2014年度)では39％であり，アメリカ127％，フランス129％，ドイツ92％，イギリス72％(すべて2011年)に比べると，先進国の中でも低いことが分かる。**グラフ1**は，日本人1人が1日当たりに消費する食品カロリーの食品別の割合の推移を示している。**グラフ2**は，日本のおもな食品の食料自給率の推移を示している。高度経済成長期当初に比べて，日本の食料自給率が低下した理由として考えられることを，**グラフ1**から読み取れる，食生活の変化に着目し，**グラフ2**から分かることとあわせて，60字程度で書きなさい。

グラフ1

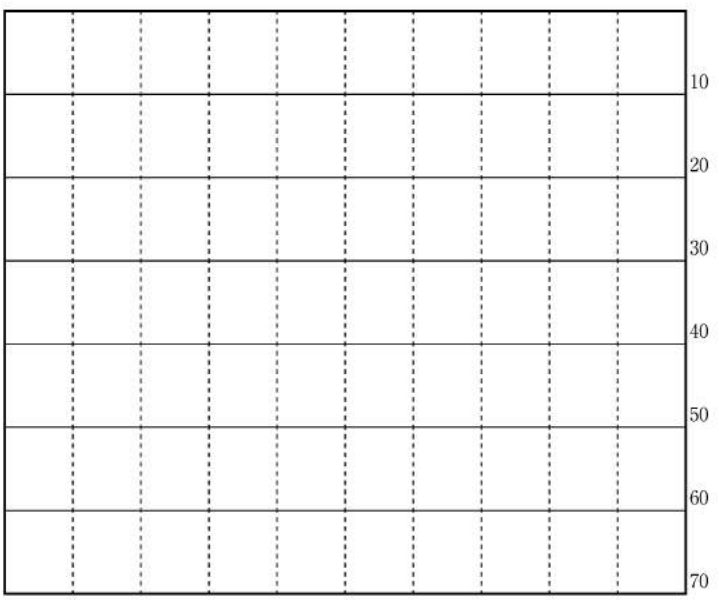


注　農林水産省資料により作成

グラフ2



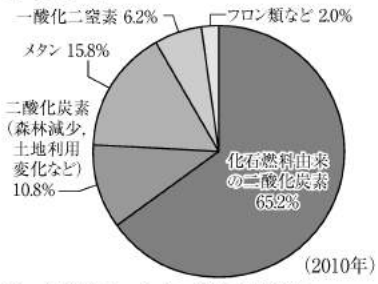
注　農林水産省資料により作成



★★ **2**　**図**は,「パークアンドライド」を勧めるポスターである。「パークアンドライド」とは，自宅から目的地まで自家用車(マイカー)で行くのではなく，最寄りの駅までは自家用車を使い，駅周辺の駐車場に車を止めて(パーク)，鉄道やバスに乗りかえる(ライド)ことで，渋滞や騒音の緩和だけでなく環境改善にも効果があると考えられている。**グラフ１**は温室効果ガスの温暖化への影響の割合を示している。**グラフ２**は輸送機関別輸送量当たりの二酸化炭素排出量を示している。「パークアンドライド」がどのように環境改善につながるのか，**グラフ１**と**グラフ２**を参考に，60 字程度で書きなさい。

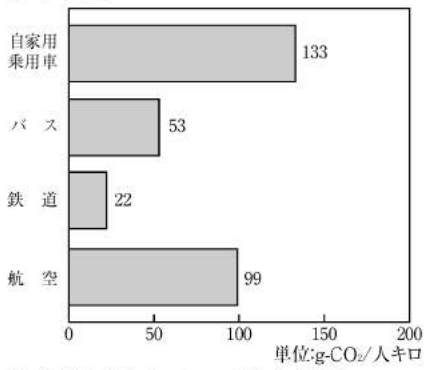
図

グラフ１

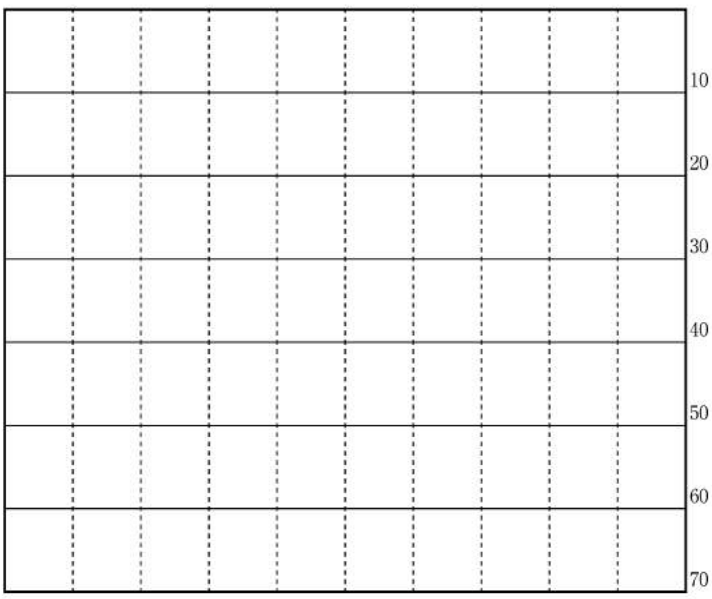


注　気象庁ホームページにより作成

グラフ２



注　国土交通省ホームページにより作成



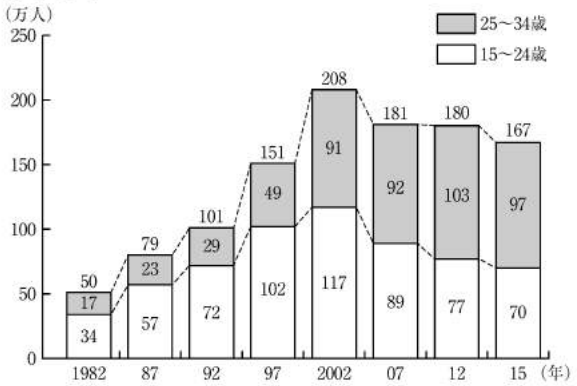
★★ **3**　近年，若者の失業率上昇が問題となり，さまざまな政策が考えられている。**資料**は現在，国が進めている「若年者雇用対策」の一部をまとめたものである。また，**グラフ１**は，フリーター数の変化を，**グラフ２**は，現在フリーターの人が，どのような職業形態で働きたいと考えているかを示している。なお，フリーターとは，学生，主婦を除く若年のうち，パート・アルバイト(派遣等をふくむ)および働く意志のある無職の人のことをいう。国が**資料**のような対策を打ち出した目的を，**グラフ１**と**グラフ２**から分かることとあわせて，60 字程度で書きなさい。

資料

- 若年者を対象に職場見学，実習，企業説明会などの就職支援メニューを用意する。
- 求職中の若年者に適性検査，カウンセリングなどの個別支援を行う。
- 若年者を試行雇用した事業主に奨励金を支払う。
- 企業と教育機関の協力プログラムにより，若年層を職業人として育成する。

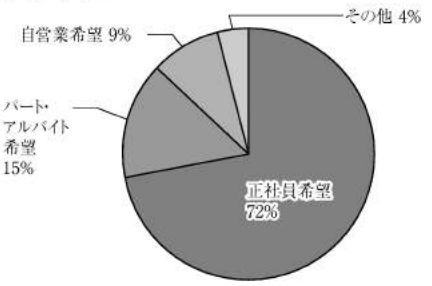
注　厚生労働省，文部科学省資料により作成

グラフ１

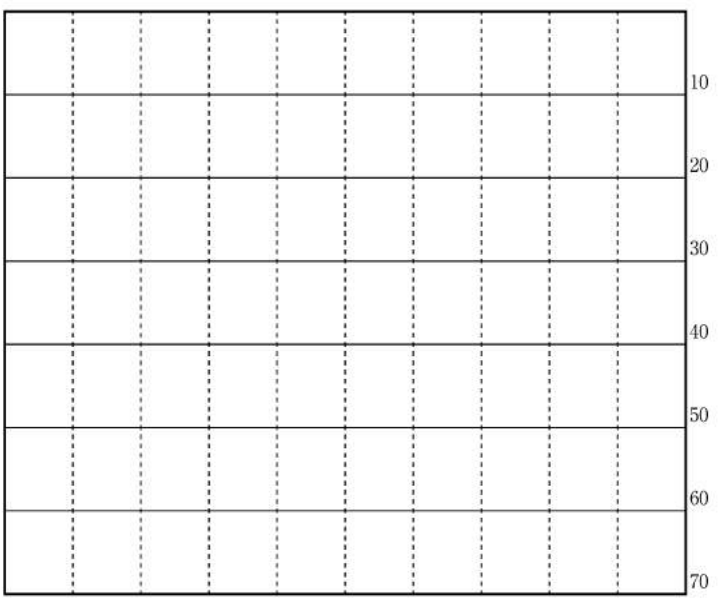


注　総務省資料により作成

グラフ２



注１　中小企業庁資料により作成
　２　現在の雇用形態別の希望する雇用形態の割合
　３　「あなたの現在の職業は次のどれですか」という問いに対する回答ごとの「あなたは現状とは関係なく，どのような就業形態でありたかったと思いますか。」という問いに対する回答者の割合
　４　回答者は，全国の 20 ～ 34 歳の男女 1849 人



★★ **4**　次の**資料**は，国土交通白書の中の「造船業の国際協力強化のための取り組み」の一部を書き改めたものである。**表１**は，1979年と2008年におけるわが国の製造業全体の従業者の年齢構成の割合を示している。**表２**は，1979年と2008年におけるわが国の大規模・中規模の造船会社の従業者の年齢構成の割合を示している。今後，わが国の造船業において，技術レベルが一気に低下し，国際競争力が弱まる可能性が懸念されている理由について，**表１**と**表２**から読み取れることをあわせて，60字程度で書きなさい。

資料

○造船業は工程の全自動化が困難な業種であり，長年の勤務で高度な技術を身に付けた熟練の従業者によってささえられてきた。
○今後，かつて経験したことのない急速な世代交代に備える必要がある。

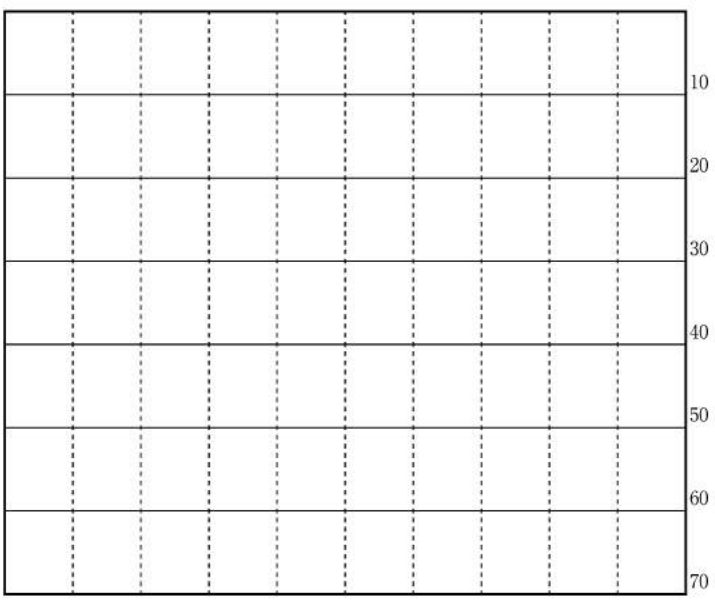
注　「国土交通白書」により作成

表１

	製造業全体の従業者の年齢構成（%）	
	1979年	2008年
50歳以上	20.5	36.0
40歳代	26.3	22.3
30歳代	29.8	24.1
30歳未満	23.4	17.7

注　国土交通省資料などにより作成

表２

	造船会社の従業者の年齢構成（%）	
	1979年	2008年
50歳以上	14.2	40.1
40歳代	27.5	9.8
30歳代	36.4	21.1
30歳未満	21.9	29.0

注　国土交通省資料などにより作成